

I 第19週の発生動向 (2009/5/4~2009/5/10)

インフルエンザについては、減少傾向にあります。B型の患者報告が続いています。

II 第19週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数																																																
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点																																											
小児科+内科 (85) インフルエンザ	62	4.4	38	2.5	26	1.9			21	2.3	7	1.2	154	2.4	-191	22	11.0	40	3.3	<table border="1"> <tr> <td rowspan="10">保健所名</td> <td rowspan="10">インフルエンザ (内科+小児科)</td> <td rowspan="10">小児科</td> <td rowspan="10">眼科</td> <td rowspan="10">基幹</td> </tr> <tr> <td>東地方</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>青森市</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>弘前</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>八戸</td> <td>14</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>五所川原</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上十三</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>むつ</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>65</td> <td>42</td> <td>11</td> <td>6</td> </tr> </table>				保健所名	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹	東地方	2	1	0	0	青森市	12	8	2	1	弘前	15	9	3	1	八戸	14	9	2	1	五所川原	7	5	1	1	上十三	9	6	2	1	むつ	6	4	1	1	合計	65	42	11	6
保健所名	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹																																																																
					東地方	2	1	0	0																																																											
					青森市	12	8	2	1																																																											
					弘前	15	9	3	1																																																											
					八戸	14	9	2	1																																																											
					五所川原	7	5	1	1																																																											
					上十三	9	6	2	1																																																											
					むつ	6	4	1	1																																																											
					合計	65	42	11	6																																																											
					小児科 (74) RSウイルス感染症														-4																																																	
(75) 咽頭結膜熱	5	0.6	3	0.3							2	0.5	10	0.2	2			5	0.6																																																	
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.3	14	1.6	7	0.8	2	0.4	20	3.3	3	0.8	58	1.4	-47			12	1.5																																																	
(77) 感染性胃腸炎	37	4.1	29	3.2	6	0.7	15	3.0	8	1.3	37	9.3	132	3.1	-95	7	7.0	30	3.8																																																	
(78) 水痘	17	1.9	1	0.1	2	0.2	2	0.4	6	1.0			28	0.7	-45	3	3.0	14	1.8																																																	
(79) 手足口病	9	1.0	1	0.1									10	0.2	-2			9	1.1																																																	
(80) 伝染性紅斑			2	0.2									2	0.0	-10																																																					
(81) 突発性発しん	3	0.3	1	0.1	2	0.2					4	1.0	10	0.2	-6			3	0.4																																																	
(82) 百日咳									1	0.2			1	0.0	1																																																					
(83) ヘルパンギーナ														0																																																						
(84) 流行性耳下腺炎	6	0.7			1	0.1	5	1.0					12	0.3	-7			6	0.8																																																	
眼科 (86) 急性出血性結膜炎														0																																																						
(87) 流行性角結膜炎	4	2.0						5	5.0				9	0.8	1			4	2.0																																																	
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	2	2.0					5	5.0	8	1.3	3																																																					

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸1人、上十三1人、青森市1人

(21年計：122人)

過去3年間の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

腸チフス

(三類感染症)

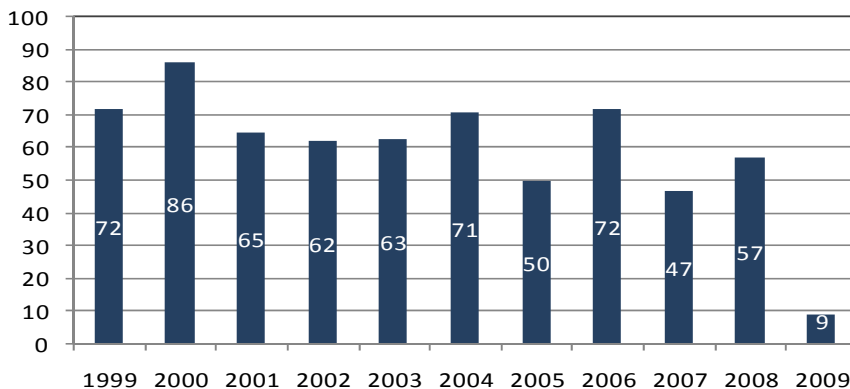


図1 腸チフス患者届出数年次推移 (全国)

統計データ：国立感染症研究所
2009年第19週現在速報値

■ 海外例 ■ 国内例

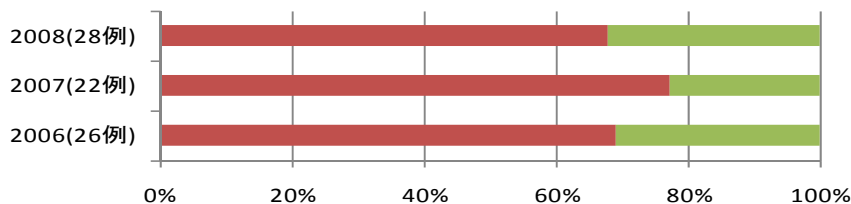


図2 腸チフス推定感染例割合 (全国 2006-2008年)

統計データ：病原微生物検出情報 /ASR

腸チフスは、チフス菌によって起こる全身性の感染症です。7~14日の潜伏期間の後、高熱(39~40℃)、その後徐脈、脾腫、下痢が見られることがあります。1999年以降の感染症発生動向調査(全国)では40人から最大80人台の患者報告が見られています(図1)。感染者の多くは、東南アジアやインドなどの海外旅行で感染することが多く、過去3年間においても海外例が60%以上を占めています(図2)。感染経路の多くは飲食物を介した感染であることから現地では生水を避けるなどの注意が必要です。

IV インフルエンザ情報 第19週 (5/4~5/10)

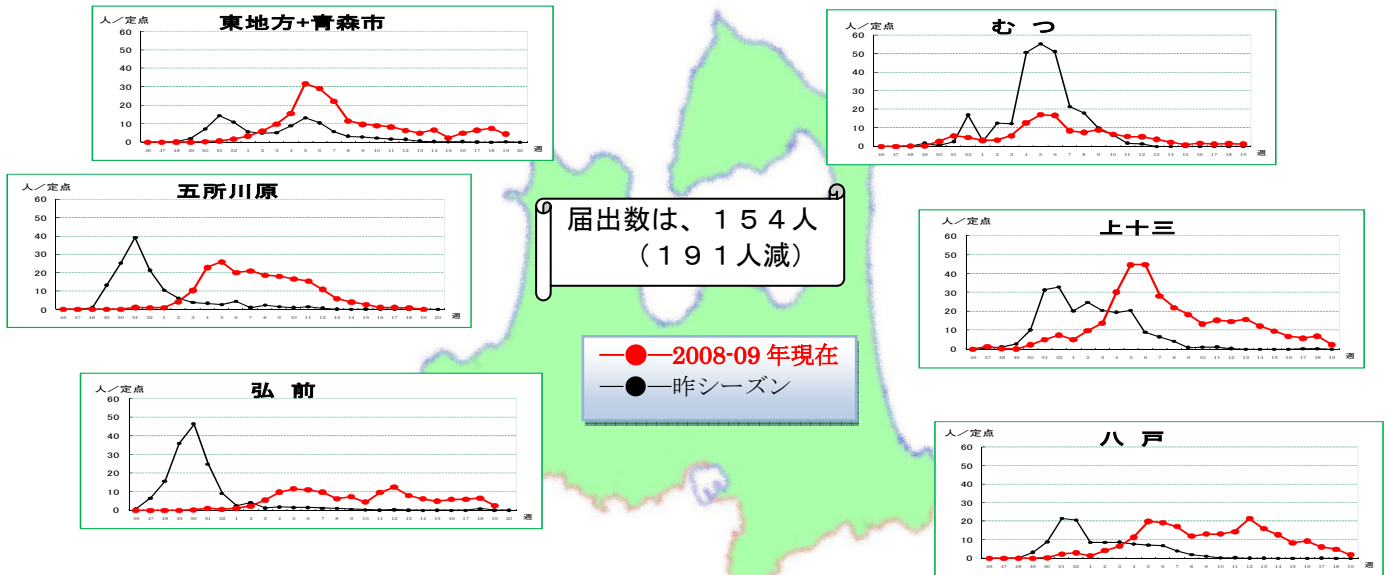
迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	22	38	26	0	21	7	40
A型	0	2	0	0	0	1	0
B型	22	36	24	0	21	6	21

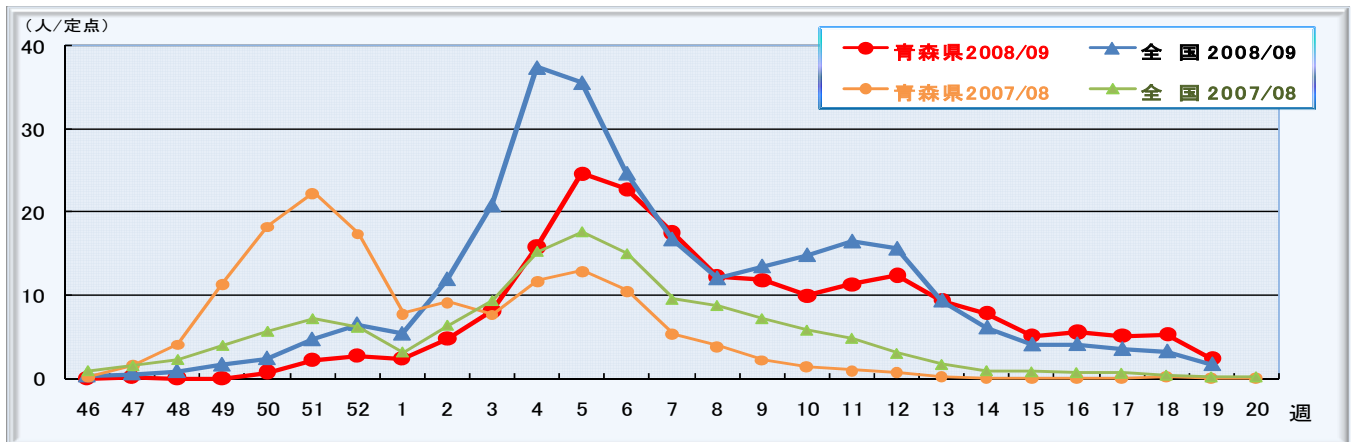
県全体の届出数は減少傾向にあり、前週に引き続き B 型の検出が見られていることから今後もインフルエンザ感染予防対策を継続することが大切です。

V 保健所管内別インフルエンザ届出数推移

* Adobe Reader は、最新のバージョンをお願いいたします。



VI 全国及び青森県におけるインフルエンザ届出数推移 (2007-2008 シーズン - 2008-2009 シーズン)



VII 新型インフルエンザ情報

(2009年5月13日 9時速報値)

現在、新型インフルエンザ感染患者はメキシコ、米国、カナダ、スペイン、英国、ドイツ、ニュージーランド、イタリア、イスラエル、フランス、韓国、エルサルバドルなど30カ国で確認され合計5,251人(61人が死亡)が報告されています。

厚生労働省では、

- ・正しい情報に基づいた冷静な対応
- ・発生国への渡航を避けること
- ・手洗いやマスクの着用、うがいの励行をお願いしています。

新型インフルエンザ医療相談センター窓口

保健所名	電話番号
東地方保健所	017-741-8116
弘前保健所	0172-33-8521
八戸保健所	0178-27-5111
五所川原保健所	0173-34-2108
上十三保健所	0176-23-1996
むつ保健所	0175-24-1231
青森市保健所	017-765-5282

受付時間は、平日及び祝祭日ともに、午前8:30~午後5:30です。
(窓口開設期間：2009年5月14日現在)